

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成12年9月期)

## 水質概要

9月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層25.3、中層26.7、下層24.8)に比べてほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、9月の水温変動は22~30で変動しており、上旬から下旬にかけて徐々に低下していた。高塩分水の流入時に若干の水温の低下が見られが顕著なものではなかった。また、水深による顕著な差異は見られなかった。

9月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.8psu、中層8.2psu、下層10.2psu)に比べて、上層、中層、下層ともに若干高い値を示していたが、ほぼ平年並の変動が見られた。また、9月においては15psu以上の高塩分水の流入は7日観測され、8月に比べるとほとんど高塩分水の流入が見られなかった。9月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係は見られなかった(図2参照)。9月については、中旬に降った雨により宍道湖水位の上昇によるものと推察される。

9月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに3.1~5.7mg/lと中層および下層で低い溶存酸素濃度の変動が見られた。(平均値:上層4.9、中層:4.3、下層:4.1mg/l)。8月と比較して顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。とくに顕著な変動は、9月1日~4日が顕著であった。

表1 9月期の水質概要

		水温 ( )	塩分 (psu)	溶存酸素 濃度
上旬	上層	28.4	13.9	4.5
	中層	28.3	14.9	3.8
	下層	28.6	16.7	3.1
中旬	上層	25.4	10.6	4.3
	中層	25.3	10.2	3.8
	下層	25.5	10.8	3.9
下旬	上層	23	7.2	5.7
	中層	23.3	7.8	4.9
	下層	23.2	8	5.3
月間平均 (9月)	上層	25.6	10.6	4.9
	中層	25.7	11.1	4.3
	下層	25.9	12.1	4.1

(水温・塩分平年値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年5月より引用)  
(表中の数字は、平均値を示す)

## 水質

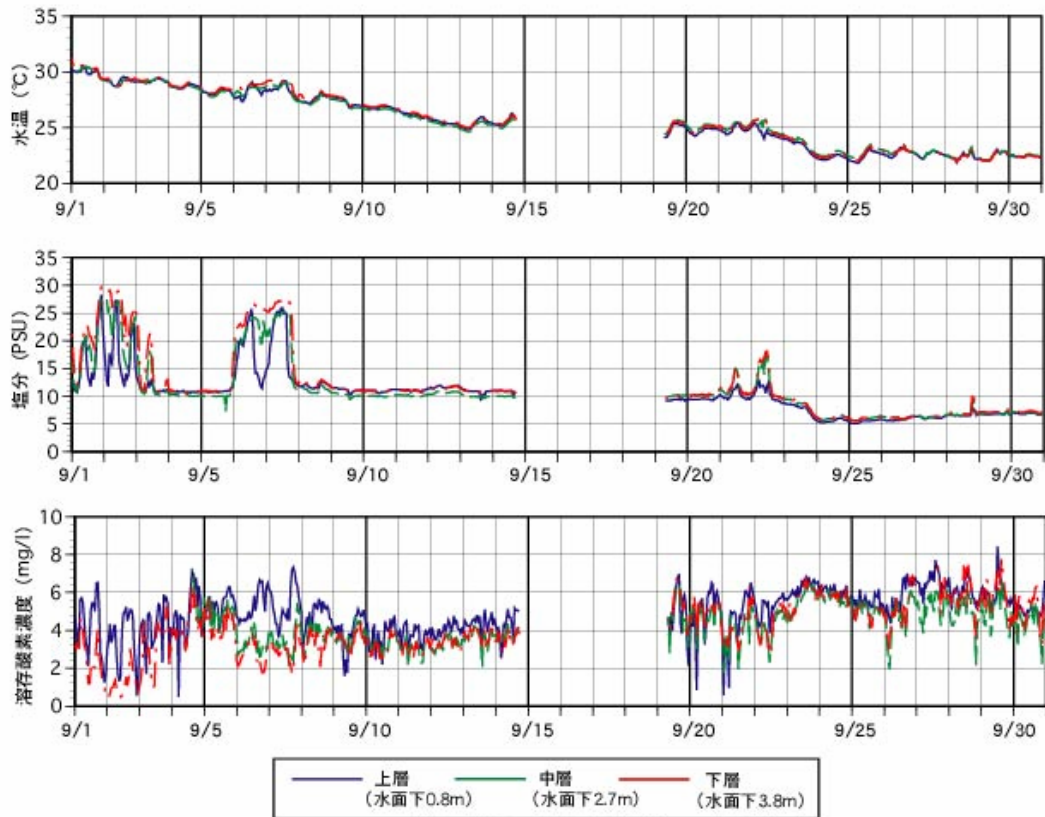


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

9月は、表2に示すとおり、平均気温23.4（平年値22.0）であり、ほぼ平年並の変動であった。

図2に示すように、9月の顕著な気圧変動は、9月16日に急激な低下が見られたものの全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1009.1hPaは、平年値(平年値1012.7hPa)と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、9月の日射量は、0.087MJ/m<sup>2</sup>であり、8月と比較して若干低い値を示していた（8月平均値：0.127 MJ/m<sup>2</sup>）。

9月の風向・風速は、平均風速2.8 m/sec（平年値2.9 m/sec, 東風）であり、平年並であった。

表 2 9 月期の気象概要

	気温 ( )	気圧(hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m2)
上旬	25.3	1007	2.6	南南東	0.083
中旬	24.3	1007.2	3.6	南東	0.094
下旬	20.5	1013.3	2.3	南南西	0.082
月間平均	23.4	1009.1	2.8	南南東	0.087

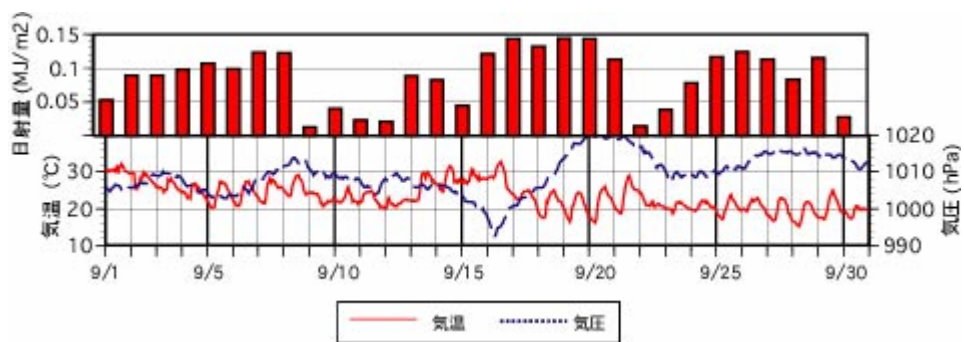


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

9 月の平均流速は、上層 49.0cm/sec、中層 39.6cm/sec、下層 36.8cm/sec であった。9 月の東方流速は、宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。このことは、中旬に降った降雨の影響により宍道湖水位が上昇したことが考えられる。

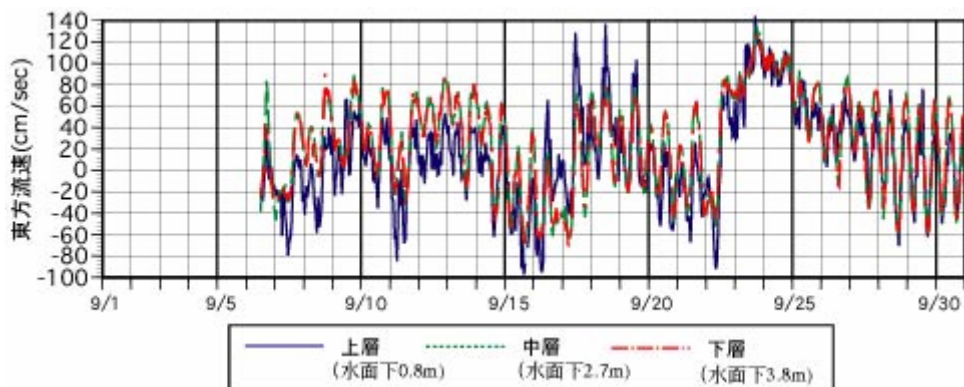


図 3 東方流速の時系列変化